勝山ひでお 県政レポート

長野県議会議員

VOL.3
2024 秋号

現場第一！ひたむきに走る

9月定例会 一般質問

初当選以来、毎定例会で一般質問に立たせていただいております。主な質問・答弁の趣旨は以下の通りです。

若者政策の推進について

【勝山】経済的な理由で結婚したくてもできない「不本意未婚」を解消するには、若者の経済的な安心の実現が重要。若者の可処分所得の増える取組を検討しては如何か。

【こども若者局長】不本意未婚の解消に若者の経済的負担の軽減は重要な取組の一つと認識している。県としては給付型奨学金の支給や国の交付金を活用し、市町村と家庭を対象に住宅取得費用や引越し費用に対し助成を行っている。今後もどのような施策が必要なのか、国が実施する支援施策も注視しつつ、検討をする。

【勝山】若者のニーズが多様化する中、出会いの場づくりとして、結婚が目的でない気軽に集える場の提供やイベントの開催も必要と考えるが如何か。

【こども若者局長】若者の自然な交流の機会を設けることは重要な取組の一つと認識している。県では、これまでも観光名所散策や異業種交流イベントなどを行ってきた。今後も若者の意見を聞きながら、若い世代の皆さんが自然な形で出会い・交流できる場の提供を行っていく。

【勝山】望まない孤立・孤独を防ぎ社会的つながりや出会いの場となる若者・単身者向けの居場所（メタバースを含む）づくりを推進していただきたい。また、若者に寄り添いサポートする若者支援コンシェルジュの設置を求めるが如何か。

【こども若者局長】若者が社会とつながれる地域拠点を増やすことは重要。市町村と連携しながらユースセンターの設置を促進したい。メタバースの活用も若者の声を聞きながら検討したい。現在、若者支援の取組として企業の中に「社内婚活サポーター」を設置しているが、婚活支援に限定せず、気軽に相談できる若者支援の役割を担ってもらえるような見直しができないか検討したい。

一般質問の動画は右のQRコードよりご視聴になれます。是非ご覧ください。

9月定例会

6月定例会 産業観光企業委員会での質問

奨学金の返還支援について

【勝山】今年度から、企業型と自治体型の奨学金変換支援制度が併用きるようになり、ありがたく思う。より多くの学生に利用していただくよう、就職希望者への周知の仕方を伺う。

【労働雇用課長】学生向けに専用サイトでの周知や就活支援ポータルサイトに奨学金返還支援の情報へのリンクを貼っている。また、Uターン就職を促進する協定を結んでいる県外65大学に対して情報提供を行っている。
今後はX、Instagram、TikTokなどを使って周知したい。

【勝山】奨学金返還支援の大事なポイントは、経済的な理由で進学を躊躇することが無いよう高校生の背中を押して、進学につなげること。奨学金返還支援制度の高校生への周知について伺う。

【労働雇用課長】県内122校の高校生に対してチラシを配布して周知を図っている。今後、SNSを使った方法も高校生には有効ではないかと考えている。

アウトドアの今後の展開について

【勝山】長野県は自然が豊かであり、現在流行っているキャンプ、サウナ、アクティビティーなどアウトドアに力を入れると更に魅力的な県になると思う。今後のアウトドアの取組の展開を伺う。

【観光誘客課長】県としてアウトドアアクティビティーを軸とした観光プロモーションを展開している。
今年度、県の公式観光サイトでテーマごとに特集記事をまとめて情報発信をしていきたい。

公明党長野県議団 長野市・上水内郡第２支部　〒381-0005長野市北堀735-2　E-mail：katsuyamahideo@gmail.com